

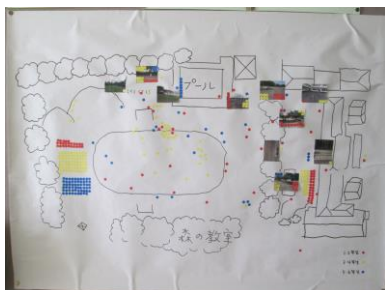
# 美園小 学校保健委員会報告

12月3日(火)、学校医海宝先生、学校歯科医岡田先生、学校薬剤師間下先生、PTA学校保健委員の方々に出席いただいて、美園小学校学校保健委員会が開かれました。

学校保健委員会では、今年度、児童保健委員会で取り組んだ「けがをしない、させない美園小にするために」～けがの防止とけがの手当て～について、保健委員会の児童が発表しました。

児童保健委員会の取組として、以下の4つのことに取り組みました。①けが注意マップを作成して、どこでけがをしているのか調べる。②けがについてのアンケート結果から、けがが起きている理由を考える。③けがが多い場所で見守りパトロールをする。④応急手当についての掲示マニュアルを作る。

特にけがが多かった校庭の遊具(滑り台、ブランコ、鉄棒)で、遊び方に危険がないか、また、危険な遊び方をしている児童には「その遊び方、大丈夫?」といった声かけを行いました。活動を始めた当初は、危険な遊び方を見つける機会が多くありましたが、声かけ活動を続けていくことで、危険な遊び方に自分たちで気づき、直していく児童が増えていきました。保健委員の児童も、危険な遊び方をする人が減ってきたことを活動の中で感じることができていました。



<けが注意マップ>



<見守りパトロールの様子>



加えて、自分でもできる応急手当についてマニュアルを作りました。「擦り傷・切り傷・打撲」「鼻血」「目にゴミが入ったとき」「熱中症」「貧血」の6つについて、1年生から6年生までわかるように作成しました。作成したものは保健室の掲示板と、階段踊り場の掲示板、体育館通路に掲示してあります。

取組の結果、1学期と比較して1日の保健室の平均来室人数は、活動前の7.4人から5.9人に減りました。



<作成した応急手当マニュアル>



<発表の様子>

参加していただいた学校医海宝先生から『取組によってけがが減っていて、効果があるのでぜひ継続してほしい』とお話がありました。学校歯科医岡田先生からは、特に歯のけがについて、『唇を切ってしまったときは、簡単なものであれば一般の歯科でも処置ができる。また、けがで歯が抜けたときには歯の保存液につけて早く病院を受診する必要がある。歯の保存液がないときには、牛乳や水でも代用できるので、乾燥しないようにすることが大切』と教えていただきました。学校薬剤師間下先生からは、来年度から始まるプログラミング教育について、『スマホなどのメディアと接する機会も増えると思うが、スマホなどのブルーライトは角膜や網膜にダメージがある。また、ブルーライトは睡眠ホルモンをおさえる効果があり、深い眠りにつけなくなってしまうため、寝る前2時間はメディア等を使わないようにしてください』とお話がありました。

お忙しいところ参加いただきました皆様、ありがとうございました。